

Creator's NEWS *Summer*

A large circular logo containing the text "Vol. 38". The number "38" is prominently displayed in the center. In the bottom left corner of the circle, there is a smaller graphic of a blue puzzle piece with the word "Puzzle" written on it.

2023/Aug.

Free Magazine

多角的な視点で、デザインを学ぶ。



色のイメージ。難しい…

宇佐美塾 開



POPの構図。余白を生かすには?



宇佐美コージー氏

〔渡風路 土空(とふうじどくう)〕

1961年、和歌山市生まれ。
グラフィックデザイナー・アートディレクター・画家
第一建設ホテルアカデミー客員教授(デザイン)

ピュエフュエコユトリロに影響を受け、全て独学にて独自のスタイルを習得、確立。
スケッチ、ポップアート、ミニマリズム作品がその主流で、デザイナーならではの観點から仕上げる作品も数多くある。京阪神を中心に芸術活動の後、地元で若手アーティスト育成、地元の文化向上に傾注し、生活の中のアートを広める為の活動を行う傍ら関西圏を中心に個展・作品展を開催。又、イベント企画、若手作家育成の為の展示会開催、絵画教室、FM和歌山でのラジオパーソナリティなど、多岐にわたり活躍中。

日頃職員のデザイナーからも教わっていますが、宇佐美先生目線でのアドバイスはまた違った勉強になり、楽しみながらデザインの勉強ができます。

例えば複雑な色味を表現する為には2色のグラデーションだけではなく、色の層を重ねる手法もあること。色調のイメージのバリエーション、人物ポージングでは体の構造や動きに対しての衣服のシルエットにも注意を払う、建造物の光の陰影の大切さ、チラシや記事などのPOPでは文章と写真の配置にあって余白を設け、メリハリを出す、など。

朝晩も涼しくなり、季節は秋に向かおうとしています。秋といえば芸術の秋。私達クリエイターズはデザインの技術向上・後学のため月2回、絵画講師・宇佐美コーゾー氏を招き、デザインに携わっている利用者のイラストやPOP等を直接見てもらい、アドバイスを頂いています。

私達は日々デザイン業務に携わっていますが、初めてイラスト・デザインに触れる利用者も多く、イラスト一つとってもやはり描き癖や描きやすさに偏ってしまいがちです。